

## 効能・効果

みずむし、いんきんたむし、ぜにたむし

## 用法・用量

1日1回、適量を患部に塗布してください。

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 患部やその周囲が汚れたまま使用しないでください。
- (2) 目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けてください。
- (3) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (4) 外用にのみ使用してください。

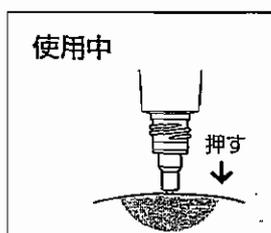
## 成分・分量

成分	含量(1mL中)
塩酸ブテナフィン	10mg

添加物:エタノール、マクロゴール

〈成分に関連する注意〉アルコールを含んでいますので、塗布時にしみる場合があります。

## 液容器の使い方



- 使用前に、容器の先端を上に向けて、手の指で押して中の空気を抜いてください。(暑い時期には内圧が高まり、薬液が多くでることを防ぐためです。)
- 患部に使用する時は容器を下向き又は斜めにして、先端を患部に軽く押しあてて塗布してください。(先端を患部からはなしますと、薬液がでなくなります。)

## 保管及び取り扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない、涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。)
- (4) 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても開封後は品質保持の点からなるべく早く使用してください。
- (5) 火気に近づけたり、火の中に入れてたりしないでください。また、使用済みの容器は火中に投じないでください。
- (6) 合成樹脂(スチロール等)を軟化したり、塗料を溶かしたりすることがありますので、床や家具などにつかないようにしてください。

## 水虫治療の5ポイント

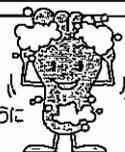
### 1 足が蒸れないように、 ふだんから心がけましょう。

白癬菌は温度15℃以上、湿度70%以上になると増殖します。常に蒸れを防ぎ、乾燥させることを心がけましょう。



### 2 患部を清潔にしましょう。 毎日、石けんでよく洗うことが大切です。

1日1回の使用で効果のある商品ですが、患部を清潔にすること、長時間蒸れないように注意する、靴や靴下を不潔なままにしない(こまめに洗う)などの工夫が必要です。



### 3 くすりは患部だけでなく、 周囲まで広く、薄く塗りましょう。

白癬菌は症状が発生している範囲より広く寄生していることが多いので、薬剤を広めに塗布しましょう。



### 4 症状がなくなっても、水虫薬は 最低1ヶ月程度、塗り続けましょう。

症状がなくなっても、白癬菌の活動を抑えているにすぎないこともあります。根気よく継続して塗り続ける事が完治への道です。



### 5 ご家族に水虫の人が いたら、一緒に治療しましょう。

ご家族の方に水虫の人がいたら、うつります。おかしいなと思ったら早めの治療を心がけましょう。



水虫の治療に向けて毎日のトータルフットケアが大切です。

※ブテナロックにはクリームタイプもあります。

本商品についてのお問い合わせは、お買い求めの薬局・薬店、又は下記の当社「お客様相談室」までお願い申し上げます。

製造販売元  久光製薬株式会社 〒841-0017 鳥栖市田代大宮町408

お客様相談室: 〒100-6221 東京都千代田区丸の内1-11-1

☎0120-133250 受付時間: 9:00~12:00, 13:00~17:50 (土、日、祝日を除く)

ご使用に際して、この説明書を必ずお読みください。  
また、必要な時にすぐ読めるよう大切に保管してください。

水虫・たむし治療薬 塩酸ブテナフィン配合 **医薬品**

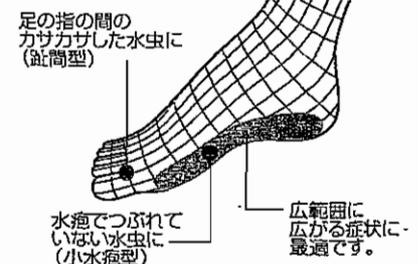
# ブテナロック<sup>®</sup> スプレー

- 水虫・たむしは、白癬菌というカビ(真菌)が皮膚表面の角質層に寄生しておこる疾患です。白癬菌が皮膚表面の角質層等のケラチン質を侵すことによって激しいかゆみがおこります。
- ブテナロックスプレーは優れた効きめで水虫の原因菌(白癬菌)を殺菌する、水虫・たむし治療薬です。

## 商品特長

- 角質層に良く浸透し、水虫の原因菌(白癬菌)を殺菌します。
- 皮膚貯留性が優れているため、1日1回で効きます。
- 塩酸ブテナフィンを1%配合した水虫・たむし治療薬です。

ブテナロック【スプレー】の適応例  
(その他の症状にも使えます。)



【かさかさ】した水虫には「ブテナロック 液」、  
【ジュクジュク】や【厚く角化】した水虫には  
「ブテナロック クリーム」もあります。

## ⚠️【使用上の注意】

### ❌ してはいけないこと

[守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。]

1. 次の人は使用しないでください。  
本剤による過敏症状(発疹・発赤、かゆみ、浮腫等)を起こしたことがある人。
2. 次の部位には使用しないでください。  
(1)目や目の周囲、顔面、粘膜(例えば口腔、鼻腔、膈等)、陰のう、外陰部等。(2)湿疹。(3)湿潤、ただれ、亀裂や外傷のひどい患部。



### 相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師にご相談ください。  
(1)医師の治療を受けている人。(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。(3)乳幼児。(4)本人又は家族がアレルギー体質の人。(5)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(6)患部が広範囲の人。(7)患部が化膿している人。(8)「湿疹」か「みずむし、いんきんたむし、ぜにたむし」かがはっきりしない人。(陰のうにかゆみ・ただれ等の症状がある場合は、湿疹等他の原因による場合が多い。)
2. 次の場合は、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師にご相談ください。

(1) 使用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、刺激感、落屑、ただれ、水疱、亀裂

(2) 2週間間使用しても症状がよくなりえない場合、又、本剤の使用により症状が悪化した場合。

## 効能・効果

みずむし、いんきんだむし、ぜにたむし

## 用法・用量

1日1回、適量を患部に噴霧してください。

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 患部やその周囲が汚れたまま使用しないでください。
- (2) 目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けてください。
- (3) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。

(4) 外用にのみ使用してください。

(5) 足の指の間にみずむしがある場合には患部より2~3cm程度近づけて噴射し、その他のみずむし・たむしには5cm程度離し、噴霧してください。

(6) 噴霧口をよく確かめ、顔面特に目に向けて噴霧したり、吸入しないでください。

## 成分・分量

成分	含量(1mL中)
塩酸ブテナフィン	10mg

添加物:エタノール、マクロゴール

〈成分に関連する注意〉アルコールを含んでいますので、噴霧時にしみることがあります。

## スプレーの使い方

### 本品の特長

・本品は広い患部に使いやすいミストスプレーに、狭い患部にピンポイントで薬剤を噴射できる機能を加えた「噴霧切り替え式」のポンプスプレー剤です。

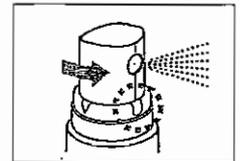
・症状で使い分ける他に、噴霧状態のお好みでお選びいただいても結構です。

### ご注意

- ・ボタンはカチッとほまる感覚があるまで廻してください。カチッとほまるまで廻さないとボタンが下がりませんので噴霧できない場合があります。
- ・ボタンが下がりにくい場合は無理に下げないでください。破損の原因になります。
- ・ボタンは「■」の印と「▼」の印の間で廻してください。無理に廻すと破損の原因になります。
- ・使い始めや使用間隔があいた場合、噴霧しにくいことがあります。
- ・噴霧しにくい時は、「広い角度の噴霧」の状態で数回カラ噴きをするとう噴霧できるようになります。

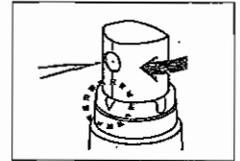
### 広い角度の噴霧(ミストスプレー)をご使用になる場合

- ① ボタン正面の縦の溝を「■」の印に合わせてカチッとほまるまで廻してください。
- ② 患部より5cm程度離し、噴霧してください。



### 狭い角度の噴射(ピンポイント)をご使用になる場合

- ① ボタン正面の縦の溝を「▼」の印に合わせてカチッとほまるまで廻してください。
- ② 患部より2~3cm程度近づけて、ねらいを定めて噴射してください。



## 保管及び取り扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない、涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。)
- (4) 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。なお、使用期限内であっても開封後は品質保持の点からなるべく早く使用してください。
- (5) 火気に近づけたり、火の中に入れてしないでください。また、使用済みの容器は火中に投じないでください。
- (6) 合成樹脂(スチロール等)を軟化したり、塗料を溶かしたりすることがありますので、床や家具などにつかないようにしてください。

## 水虫治療の5ポイント

**1** 足が蒸れないように、ふだんから心がけましょう。

白癬菌は温度15℃以上、湿度70%以上になると増殖します。常に蒸れを防ぎ、乾燥させることを心がけましょう。



**2** 患部を清潔にしましょう。毎日、石けんでよく洗うことが大切です。

1日1回の使用で効果のある商品ですが、患部を清潔にすること、長時間蒸れないように注意する、靴や靴下を清潔なままにしない(こまめに洗う)などの工夫が必要です。



**3** くすりは患部だけでなく、周囲まで広く、薄く塗りましょう。

白癬菌は症状が発生している範囲より広く寄生していることが多いので、薬剤を広めに塗布しましょう。



**4** 症状がなくなっても、水虫薬は最低1ヶ月程度、塗り続けましょう。

症状がなくなっても、白癬菌の活動を抑えているにすぎないこともあります。根気よく継続して塗り続ける事が完治への道です。



**5** ご家族に水虫の人がいたら、一緒に治療しましょう。

ご家族の方に水虫の人がいたら、うつります。おかしいと思ったら早めの治療を心がけましょう。



水虫の治療に向けて毎日のトータルフットケアが大切です。

※ブテナロックには液タイプ、クリームタイプもあります。

本商品についてのお問い合わせは、お買い求めの薬局・薬店、又は下記の当社「お客様相談室」までお願い申し上げます。

製造販売元  **久光製薬株式会社** 〒841-0017 鳥栖市田代大官町408

お客様相談室：〒100-6221 東京都千代田区丸の内1-11-1

 **0120-133250** 受付時間:9:00~12:00、13:00~17:50(土、日、祝日を除く)

一 般 名	塩酸アモロルフィン	
構 造 式		
参 考	医療用製剤	ペキロンクリーム (1g 中アモロルフィンとして 5 mg)
	医療用承認年月日等	平成 5 年 1 0 月 1 日 (再審査結果：平成 1 3 年 3 月)
	医療用効能・効果	下記の皮膚真菌症の治療 <ul style="list-style-type: none"> <li>・白癬：足白癬、手白癬、体部白癬、股部白癬</li> <li>・皮膚カンジダ症：指間びらん症、間擦疹（乳児寄生菌性紅斑を含む）、爪炎囲</li> <li>・癬風</li> </ul>
	医療用用法・用量	1 日 1 回患部に塗布する。
一 般 用 製 剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>① トークール (1 g 中アモロルフィンとして 5 mg)</li> <li>② トール (1 g 中アモロルフィンとして 5 mg)</li> <li>③ ハイシックス (1 g 中アモロルフィンとして 5 mg)</li> <li>④ ダマリンエース (1 g 中アモロルフィンとして 5 mg)</li> <li>⑤ ダマリン EX (1 g 中アモロルフィンとして 5 mg)</li> <li>⑥ ダマリン A (1 g 中アモロルフィンとして 5 mg)</li> <li>⑦ トークール液 (1mL 中アモロルフィンとして 5mg)</li> <li>⑧ トール液 (1mL 中アモロルフィンとして 5mg)</li> <li>⑨ ハイシックス液 (1mL 中アモロルフィンとして 5mg)</li> <li>⑩ ダマリンエース液 (1mL 中アモロルフィンとして 5mg)</li> <li>⑪ ダマリン EX 液 (1mL 中アモロルフィンとして 5mg)</li> <li>⑫ ダマリン A 液 (1mL 中アモロルフィンとして 5mg)</li> </ul>	
一般用承認年月日	①平成 14 年 10 月 18 日、②平成 14 年 10 月 18 日、③平成 14 年 10 月 18 日、 ④平成 14 年 10 月 18 日、⑤平成 14 年 10 月 18 日、⑥平成 14 年 10 月 18 日、 ⑦平成 17 年 12 月 14 日、⑧平成 17 年 12 月 14 日、⑨平成 17 年 12 月 14 日、 ⑩平成 17 年 12 月 14 日、⑪平成 17 年 12 月 14 日、⑫平成 17 年 12 月 14 日	
一般用効能・効果	水虫、いんきんたむし、ぜにたむし	
一般用用法・用量	1 日 1 回、適量を患部に塗布する。	

<p>一般用医薬品 市販後調査結果等</p>	<p>トール及びダマリンエースの市販後調査（第1次：平成14年10月18日～平成15年10月17日、第2次：平成15年10月18日～平成16年10月17日、第3次：平成16年10月18日～平成17年10月17日）</p> <p>※トール等8品目については未販売。</p> <p>(1) 特別調査：1,171例中4例(4件)（副作用発現率0.34%）  投与部位潰瘍（ただれ）2件、投与部位そう痒感（かゆみ）2件※  ※このうち、1件は湿疹病変への誤用による可能性</p> <p>いずれも「使用上の注意」から予測できる既知で非重篤な事象であった。</p> <p>(2) 一般調査：19例（28件）  投与部位腫脹7件、接触性皮膚炎6件、投与部位紅斑5件、投与部位発疹※、投与部位小水疱、発疹各2件、投与部位湿疹、投与部位そう痒感、眼痛、眼の異物感各1件  ※このうち、1件は湿疹病変への誤用による可能性</p> <p>ほとんどが「使用上の注意」から予測できる既知の事象であり、いずれも非重篤な事象であった。「眼痛」、「眼の異物感」については情報不足等により因果関係が評価できないことから、現時点で使用上の注意の改訂等の必要性に乏しいと考えられる。</p>
<p>対 応 案</p>	<p>アモロルフィンとして1g (mL)中5mg以下を含有する外用剤(軟膏剤及び液剤)を指定医薬品から解除する。</p>